

木もれ日

こもれび・komorebi・木もれ日

総合建設
株式会社 日向建設 ひゅうがけんせつ
〒247-0061 神奈川県鎌倉市台1-10-4
http://www.hyuug.co.jp
TEL 0467(47)5454 FAX 0467(44)0303

どこまでが夢ですか



『本年もよろしくお願いたします!』

今月の特集! 鎌倉の古き良き時代を伝える家

明治22年横須賀線が開通して以来、鎌倉には別荘や保養所が次々と建てられました。鎌倉は、将校や財界人といったいわゆる上流階級の人々の一大避暑地として華やかな時代を送りました。多くの文化人達も訪れ、様々な作品に当時の鎌倉が登場します。歴史ある古都の佇まいを残しながらも海や山を擁する魅力的なリゾート地として鎌倉は過去も現在も人々を引きつけています。

今回ご紹介するのは、そんな古き良き時代の鎌倉の雰囲気や今に伝えるT様の素敵な洋館です。T様ご夫妻は耐震補強工事の必要をずっと感じていたのですが、どの業者に依頼するか、その選定に時間がかかったとおっしゃっていました。インターネットでも調べ、他の工務店にも問い合わせたそうです。その中で、工事内容が納得でき、日向建設で工事をしたお客様からの評判も確認した上で、信頼できると判断し選んでいただけました。問題のある業者の話が報道されることもあり、不安もあったようですが、決め手は地元という安心感と確かな実績だったそうです。

大事に守り、伝えていきたい

建物は昭和初期、夏の別荘として建てられた洋館です。

一階には洋間と水廻り、二階には純和室、洋間の書斎、寝室、広い納戸があります。一階の洋間は白い漆喰の天井に額縁のような模様が入り、アンティークのランプが印象的です。濃茶の木枠、本物の布でできた壁クロスとのコントラストもすばらしく、しばらく見入ってしまうほどでした。

関東大震災を経験した人が注文した家なので、年代の古さにもかかわらず、しっかりと筋違いが入っているとのことでした。

気品のある格調高い雰囲気でありながら、どこか温かみを感じるのは、曲線や丸みを生かした意匠を多用しているからでしょうか。椅子やテーブルといった調度品も修理を重ねて、当時の物を大事に使い続けているそうです。使う人に愛されてきた家具や調度品たちもやすらぎを与えてくれています。

鎌倉の移り変わりのお話をしてくださったT様ご夫妻



「お互いに相手を尊重しながら、それぞれの趣味を楽しんでいます」と…(うーん、いつかそうなれたら…)



一階洋間の天井の四隅にクローバーのような形の穴?これは換気口です。進んでましたね。



玄関脇、階段の上がり口には、アーチ状のくり抜きや球を重ねたような柵。



『鎌倉洋館スケッチ帖』という本の中に紹介されています。残してほしい洋館がいっぱい。図書館にも所蔵されています。

貴重な建築当時の写真

一般的な住宅価格が三百円ぐらいの時代に一万円だったとか。広い庭に面した大きな開口部が特徴的です。風通しがよく明るいのが強度が心配。耐震工事の必要性が。



ご夫妻こだわりの壁紙。美しい高級布クロスです。センスの良さに脱帽!ショールームにも足を運びお二人で話し合っていました。「やはり、いい物を見るとねえ〜」とおっしゃっていました。

美しいセピア色の写真に当時の姿が残されていました。サッシと水廻りのリフォームをただけのことで、現在も雰囲気はほとんど変わっていません。庭には井戸があります。災害に備える意味もあり、ご主人の趣味の園芸など、積極的に利用しているそうです。

その住宅に合わせた工事を

思い出のある我が家を残し伝えていきたい。そして、より住みやすくしたい。そんな要望にお応えします。

ひとくちに、耐震補強工事といっても安易に補強金具をつければ良いというものではありません。その家の住み心地や外観を大事に考えることが望ましいのです。また建物の構造からくる制約もあります。

基礎の木部のつなぎ目が傷み、通常では土台を取り替えるところでしたが、構造的にそれができませんでした。そこで腐った部分を切って型枠をはめ、樹脂モルタルで埋めるという方法をとりました。(写真下)



普通の方法では柱にとめる金具が露出してしまう部分がありました。床下にのびる金物を柱につけて、それに耐震補強金具を取り付けました。

もちろん、今回も床下には鉄筋を張り巡らせた上、厚くコンクリートを敷設し耐圧盤とする耐震補強も行っています。そして、フローリングも美しい色調のものに張り替えられました。下から抜ける空気が冬場は寒かったそうですが、その心配もなくなったことでしょう。(写真)



現在の外観とピアノのある洋間。古い写真の雰囲気がそのまま残っています。



日向建設の「民家再生」DVD 御覧になりましたか?



蓄熱式床暖房工事および耐震補強工事の様子がよくわかります。自然素材を使った家の心地良さが伝われば…と思います。ぜひ、家づくりの参考にしてください。

三三情報 チョット住まいる

身近な住宅用語の語源

～ふだん、なにげなく使っている住宅に関する言葉の由来を調べてみました～

●玄関

『玄』は奥が深い悟りの境地のことで、『関』は入り口のこと。鎌倉時代の禅宗の仏教語。奥深い仏道への入り口を意味し、禅寺の方丈への入り口、寺の門などもさすようになった。住居の入り口の意味で使われるようになったのは江戸時代以降のこと。

●台所

平安時代の『台盤所』に由来する。『台盤』とは宮中や貴族の家で用いられた食べ物を盛った盤を載せる足つきの台のこと。『盤』が省略されて『台所』となったとする説が有力。

鎌倉時代ごろから武家や農家でもかまどのある部屋を『台所』と呼ぶようになった。食と家計は結びつけて考えられることが多いことから金銭の出し入れをするところのことも『台所』というようになった。「台所事情」、「台所が苦しい」など。

●風呂

地下の保存用の部屋を意味する『室(むろ)』からとする説、茶道の『風炉(ふうろ)』からとする説など諸説ある。平安時代末ごろから『風呂』はあったが、蒸し風呂形式のものだった。お湯を浴槽にはる形式のものは江戸初期から現れ、『湯屋(ゆや)、お湯殿(ゆどの)』と呼ばれ、区別されていた。

— お店紹介 — コリアンショップ

大船駅笠間口から横浜方面へ徒歩5分ほどのところに、今話題のBBクリームを売っている韓国グッズのショップを発見。最近BBクリームがテレビで紹介され有名になり、品薄になっているとか。これは日焼け止め、下地、乳液が一本でという優れもの。

お店の中には韓流スターグッズがいっぱい。新しい物も随時入荷しているそうです。ごひいきの韓流スターがいる人は、のぞいてみると他ではお目にかかれぬ掘り出し物に出会えるかも。小さなお店ながら食べ物、衣料品、コスメ、などバラエティに富んでいます。



■編集後記

本年初めてのニュースレターをお届けします。先日、久々の雪が降りました。あちらこちらで事故が起きていましたが、皆さんは大丈夫でしたか? 横浜で昨年工事をさせて頂いた内容を基調に、当社が薦める「耐震補強」「蓄熱式床暖房」「自然素材」を使った家づくりをまとめたDVDを製作しました。KCTVに製作をお願いしたので、テレビでも1日に4回、5分間づつ流れています。今年も耐震補強の必要と地球と体に優しい蓄熱式床暖房を広めていきたいと思っています。

